

10周年記念企画 TF からの報告／提案

1. 10周年記念企画 TF からの報告

1-1. 10周年記念企画 TF 開催

1) 第2回 TF 会合 2020年12月25日(金) 9:00~10:40

2) 第3回 TF 会合 2021年1月22日(金) 9:00-10:20

3) 第2回・第3回 TF 会合 参加者(敬称略)

● TF メンバー (座長除き、所属機関 50 音順)	第 2 回	第 3 回
松原 稔／りそなアセットマネジメント (座長)	○	○
堀江 隆一／CSR デザイン環境投資顧問	○	○
田辺 敬章／損害保険ジャパン	○	○
新美 雄太郎／野村総合研究所	○	
長谷川 道子／ニッセイアセットマネジメント	○	○
堀崎 慎一／浜松いわた信用金庫	○	○
菊池 勝也／東京海上アセットマネジメント	○	○
稲葉 章代／三井住友トラスト・ホールディングス	○	○
加藤 正裕／三菱 UFJ 信託銀行	○	○
● オブザーバー (似内 志朗／ヴォンエルフ、嶋崎 良伸／滋賀銀行)		○
● 環境省		○

※TF メンバーには地域金融機関が少ない。特に地方銀行からの参加を増やしたい。

1-2. 10周年記念企画 TF 第2回・第3回議論内容

1) 10周年記念企画の趣旨

- ・「これまでの10年間の成果と今後の方向性」の発信(過去・現在・未来を見据えて)。
発信先は署名金融機関、国内の金融機関、海外。

2) 10周年記念として行う事業

- ・記念イベント、および足跡としてWEBサイト等に残すもの。
- ・イベントありきではなく、主体は成果と方向性をとりまとめて残し、署名金融機関と共有すること。イベントは発信方法の1つ。
- ・イベントと残す企画を別に準備するのではなく、イベント内容を残す企画にも反映。

3) 記念イベントとPRI in Person (2021/9/14~16)の位置づけ

- ・記念イベントを以下のいずれに位置づけるか議論。
 - ①PRI 関連イベントと統合：PRI で公式に認められたサイドイベント
 - ②PRI 関連イベントと統合：PRI に関連する内容も含むが金融行動原則独自イベント
 - ③PRI と関連しないイベント：PRI のことは意識しない金融行動原則独自イベント
- ・①はイベント内容にPRI による制約がかかることで、10周年記念の趣旨に沿った内容で開催できなくなる可能性が懸念される。
- ・PRI を意識しつつも、10周年記念企画の趣旨を重視する意味で②③の中間に位置付け。
国内金融機関(署名機関+今後の署名が期待できる非署名機関)を対象とした発信、グローバルへの発信を行う。

4) 記念イベント開催日時／構成

- ・PRI in Person の前後にオンライン(登壇者は会場)で開催。来日者の都合(土日の移動)を考慮し最終日(9/16)のPRI in Person の解散後(要確認)の午後か、9/17。
- ・イベントは2部構成とし、第2部(グローバルへの発信)は欧州からの参加者を意識して夕方とす

る。

5) 国内金融機関への広報

- ・WG では地方銀行の参加が芳しくない。環境省と連携、地方環境事務所を通じ、財務局からの周知などを行う。

6) 国外への広報

- ・PRI in Person 期間およびその前後にはイベントが多く埋もれてしまうことが懸念される。Responsible Investor 等、メディア関係に共催／協賛を依頼。

7) 予算との兼ね合い

- ・予算は計 120 万円（仮）（周年記念企画 積立 2019: 20 万円、2020: 50 万円、2021: 20 万円（仮）。PRI 関連イベント 2020: 30 万円（延期に伴い 2021 用に積立））。
- ・イベントはグローバル発信（第 2 部）には同時通訳が必要。イベントの支出が大きいと残す企画の予算が不足（WEB サイトに残す内容お一部には外部委託が望ましい）。
- ・イベントに関しては、環境省等との共催により予算を一部負担いただくことは可能か。

8) 21 世紀金融行動原則 7 つの原則について

- ・第 2 回運営委員会にて策定時との状況変化により現状に合わない内容がある可能性を踏まえ見直しの提案があった。もし見直す方向に進むのであれば、周年記念事業にも盛り込みたい（見直した結果ではなく、見直す過程として。PRI のブループリントのようなもの）。

2. 10 周年記念企画 TF からの提案（周年記念事業案とスケジュール）

2-1. 周年記念事業案とスケジュール

2-1-1. 趣旨

「これまでの 10 年間の成果と今後の方向性」の発信（過去・現在・未来を見据えて）。
発信先は署名金融機関、国内の金融機関、海外。

2-1-2. 内容

イベントでの発信内容を基に足跡として残すものを WEB サイト等から発信。

1) イベント

開催日時：9 月 16 日（木） or 17 日（金）夕方を含む 3 時間程度

※PRI 総会（9/14～16）、最終日の解散後または翌日。来日・帰国の土日の移動を最小限になるよう欧米の方を考慮して直後を想定。PRI 総会がリアルかオンラインかにもよる。

開催方法：ハイブリッド（登壇者は会場＋一般参加者はオンライン）

内容：2 部構成

第 1 部：署名金融機関、国内金融機関等に対して発信（1 時間半）

- ・10 年間の振り返り（過去）・現在・未来
→メッセージ（末吉氏）、対談／座談会等（登壇者は起草から貢献いただいていた竹ヶ原氏、金井氏、未来への発信を踏まえ両運営委員長、TF 座長等）
- ・7 つの原則について→ブループリント等、対談／座談会等に盛り込む。
- ・署名機関が署名後に得た成果（発信対象となる国内金融機関等には今後の署名機関候補含め、署名機関の取組維持／改善、新規署名機関勧誘も図る）。

第 2 部：グローバルへの発信（1 時間半）

※オンラインで欧州からの参加可能な時間

- ・環境省や金融庁等による金融業界が担うべき持続可能な日本に向けた施策
※金融庁には運用・証券・投資銀行業務、保険業務、預金・貸出・リース業務といった署

名金融機関の幅広い業態をカバーしていただく。

- ・海外からの登壇者（Responsible Investor, PRI 関係訪日者）
- ・21世紀金融行動原則 署名金融機関

※第2部は同通必須（第1部は未定。同通を入れる場合はビデオレター等を活用する場合は要字幕等）。

2) WEB サイト等（残す情報）

- ・ビデオレター：10年間の振り返りと今後（方向性や期待）→WEB サイト 周年記念企画コーナー／イベントのメッセージを活用？
- ・座談会：読み物として。21世紀金融行動原則の10年間と今後→WEB サイト 周年記念企画コーナー／イベントの対談・座談会等を文字に
- ・年表：策定と署名開始からの10年間→WEB サイト 周年記念企画コーナー
- ・原則を基にしたブループリント（または原則を踏まえ更新した「提言：ESG 金融大国となるための取るべき戦略」のアクションリスト）→WEB サイト、原則の見直しにも活用
- ・若者からのメッセージ→WEB サイト 周年記念企画コーナー

2-1-3. 7つの原則の見直しについて

- ・第2回運営委員会での提案を受け、7つの原則を見直すかどうか、運営委員会でご検討いただきたい。
- ・見直す場合、その方向性を踏まえ、周年記念事業への反映を検討するが、原則の見直しは運営委員会／総会で検討すべき事項。

2-1-4. 今後のスケジュール案

時期	予定
2月9日	第3回運営委員会 ・記念企画内容に関する議論の方向／提案 ・21世紀金融行動原則 7つの原則の見直しも見据えたにコンテンツを検討していることを報告、見直しについて議論いただく。
3月3日	第10回定時総会における記念企画内容の承認 (総会での承認が難しい場合は臨時総会にて)
4月～6月	・(見直すのであれば) 7つの原則についての検討(委員会等) (2021年度 第1回運営委員会(5月)) ・ウェビナーの骨組の検討
7月～8月	・ウェビナー コンテンツの準備
9月16日 or 17日(仮)	イベント開催(ウェビナー)
9月～12月	WEB サイト等の残すコンテンツ作成(イベント情報を基に。不足するものがあれば補完。年内にすべての企画を仕上げるイメージ)